

横須賀港港湾環境計画

～横須賀港の海の再生・活生・共生に、ともに取り組んでいきます～

横須賀市

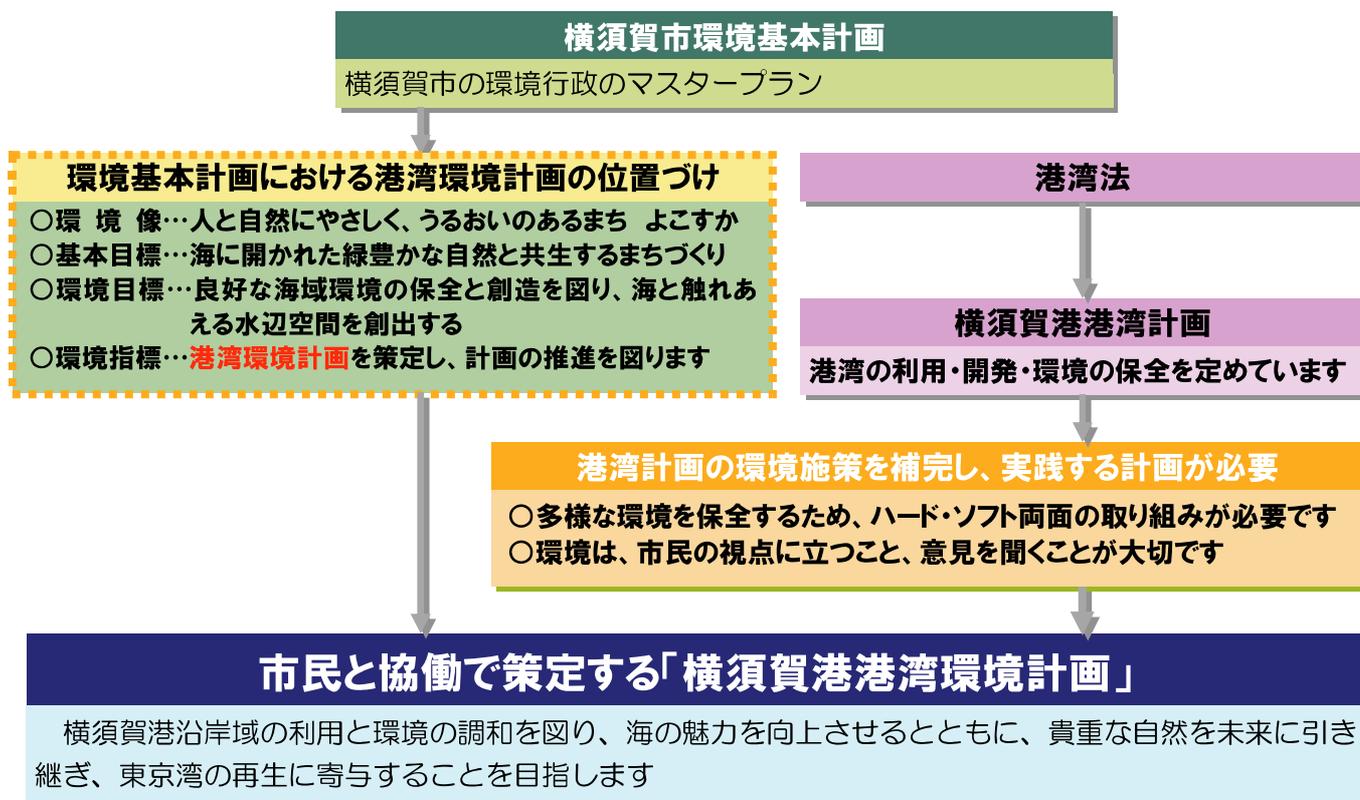
横須賀港の環境

横須賀港は、首都圏に位置する利便性から物流や産業の拠点として高密度な利用がなされる一方、自然海岸や緑に恵まれ、港湾の発展と自然との共存が可能な臨海部空間を持っています。また、天然の良港であることから古くから利用され、開国や海軍に関連する歴史的資源が豊富にあり、横須賀特有の風景が形成されています。

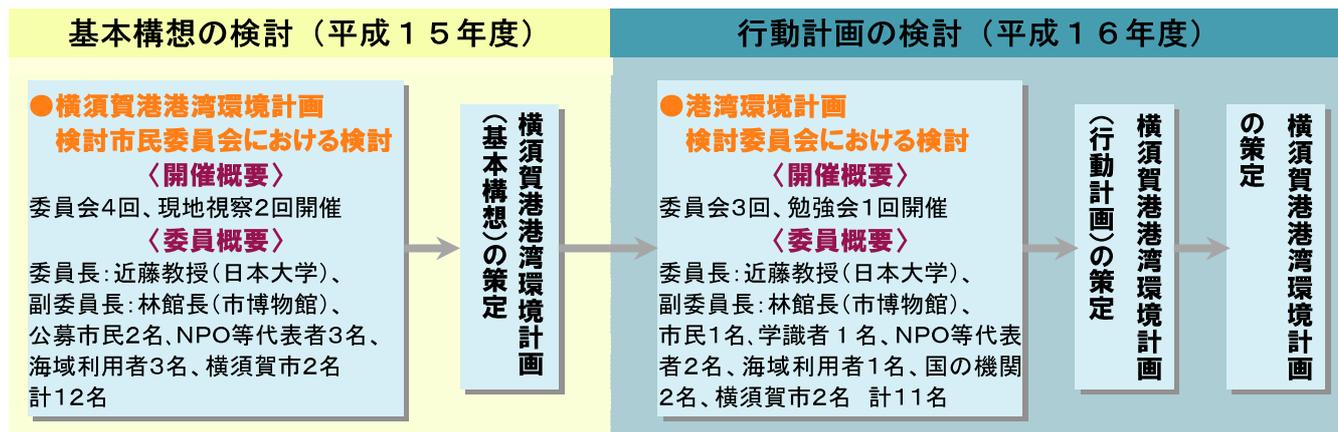
横須賀市は、“みなとやまち、くらし”を形作る様々な環境の要素の調和が大切であると考えています。



港湾環境計画の位置づけ



市民協働による港湾環境計画検討のプロセス



基本構想

多様な環境と、港湾・都市との調和を図る“総合的な環境共生施策”として横須賀港港湾環境計画の基本構想を取りまとめました。

基本理念と6つの基本方針

基本方針 1

『市民協働による推進』

- ・エコタウンポート形成に向け、市民と行政が協働して進めることのできる体制づくりや情報ネットワークの形成を図ります。
- ・協働による港湾環境施策の検討、実施、運営等を実現します。

基本方針 2

『利用と環境の調和』

- ・横須賀港における多様な利用に配慮するとともに、良好な環境形成に向けて保全等を進め、利用と環境の調和を図ります。

基本理念

『市民との協働による「エコタウンポート」の形成』

横須賀港は、港、海、自然、文化、歴史といった面で、独特で多様な環境を有していることから、これらを活かし港及び都市と環境が調和した横須賀特有の沿岸域を形成するため、市民と行政が協働で「再生・活生・共生」に取り組み、人々がこれを楽しみ、まちづくりに貢献する“みなと”（エコタウンポート）を目指します。

基本方針 3

『快適な生活環境の形成』

- ・人々が海を眺め、近づき、ふれあうことができるよう水辺空間の開放を進めます。
- ・緑による都市温熱環境の緩和や行き届いた沿岸管理等により環境負荷を減じ、快適でくらしやすい環境を形成します。

基本方針 4

『海の環境再生』

- ・自然の海岸線や植物帯など、東京湾に残された貴重な自然環境を保全します。
- ・生物生息に適した環境を修復することで、海が本来持つ浄化機能や生物を育む機能の向上を図り、海域環境の再生を図ります。

基本方針 5

『活力あるまちの創造』

- ・横須賀市の持つ港、海、自然、文化、歴史等の保全・再生を進めつつ積極的に活用し、人々が交流する活力あるまちを創造します。

基本方針 6

『横須賀ブランドの活用』

- ・横須賀が有する港、海、自然、文化、歴史等をブランドとして高め、環境の再生・活生・共生に寄与する仕組みを検討します。

※市民：協働の対象としての市民は、個人としての市民はもとより、関連する主体として、事業者、漁業者等海域の利用者、市民団体、NPO等を含む。

※人々：市内に居住する人、市内で働く人及び来訪者など、ある環境に関わるすべての人。

※ブランド(brand)：商標、銘柄、(心に)強く刻みつける、語源的には「焼印」から派生した語（横須賀のブランドとしては、海軍、開国の地、東京湾に残された自然、カレーなど様々なものがある）

エリアの設定

【地域性の配慮の必要性】

横須賀港の環境には、地域的な違いがあり、地域の環境や特性に合わせて、環境の基本方針や施策を変えていくことが必要となります。

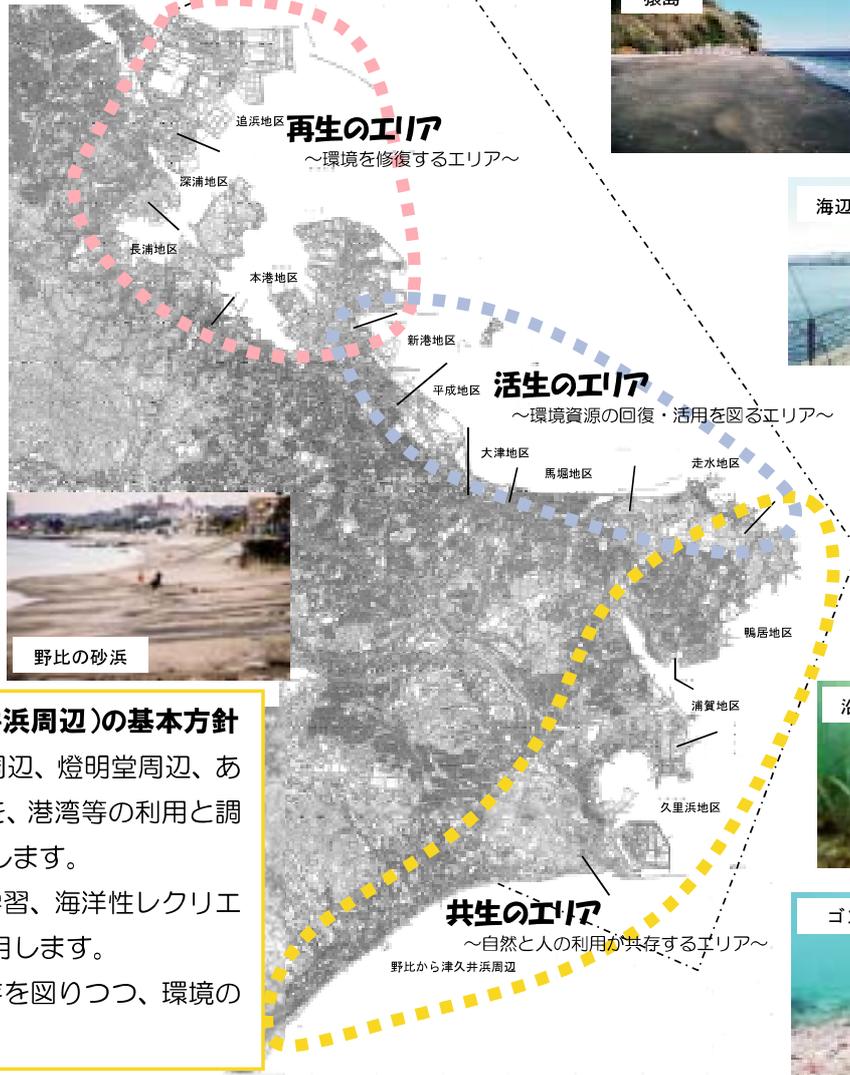
そこで、横須賀港を「再生のエリア」、「活生のエリア」、「共生のエリア」の3つのエリアに区分するとともに、それぞれのエリアごとに基本方針を設定します。

再生のエリア(追浜地区～新港地区)の基本方針

- ・企業、防衛施設等との調整により、水辺空間の開放を図ります。
- ・近自然的な施設の整備等を進め、自浄機能や生物生態環境の向上を図ります。
- ・市民の海に対する関心を高め、エリア内の環境の再生を進めます。

活生のエリア(新港地区～走水地区)の基本方針

- ・新港から走水に至る広く開放された水際線を持つ特色を活かし、近自然的な施設の整備等による海域環境の修復を図ります。
- ・猿島、走水等を中心とした現存の海岸、植生、藻場等の維持・修復、歴史資産の保存を進め、生物生態、レクリエーション等の環境における総合的な要請に応えます。
- ・海に親しむ活動（環境学習、水遊び、散策等）の場として積極的に活用します。



共生のエリア(走水地区～津久井浜周辺)の基本方針

- ・自然海岸と藻場が残る観音崎周辺、燈明堂周辺、あしか島周辺、野比周辺の環境を、港湾等の利用と調和を図りつつ、積極的に保全します。
- ・自然を体感（自然観察、環境学習、海洋性レクリエーション等）する場として活用します。
- ・浦賀、久里浜の歴史遺産の保存を図りつつ、環境の復元・修復を進めます。

- ※再生：近自然の復元や環境の改善によって、失われた環境を可能な限り望ましい状態にもどしていくこと。
- ※活生：環境修復によって、自然の回復力を高め、海域の持つ潜在的な活力を取りもどしていくことを意味する造語。
- ※共生：現存する自然を良い状態に維持することと、人が求める様々な利用との調和が図られること。

行動計画 (Think Globally and Act Locally:地球レベルで考え地域レベルで行動しよう)

基本的考え方

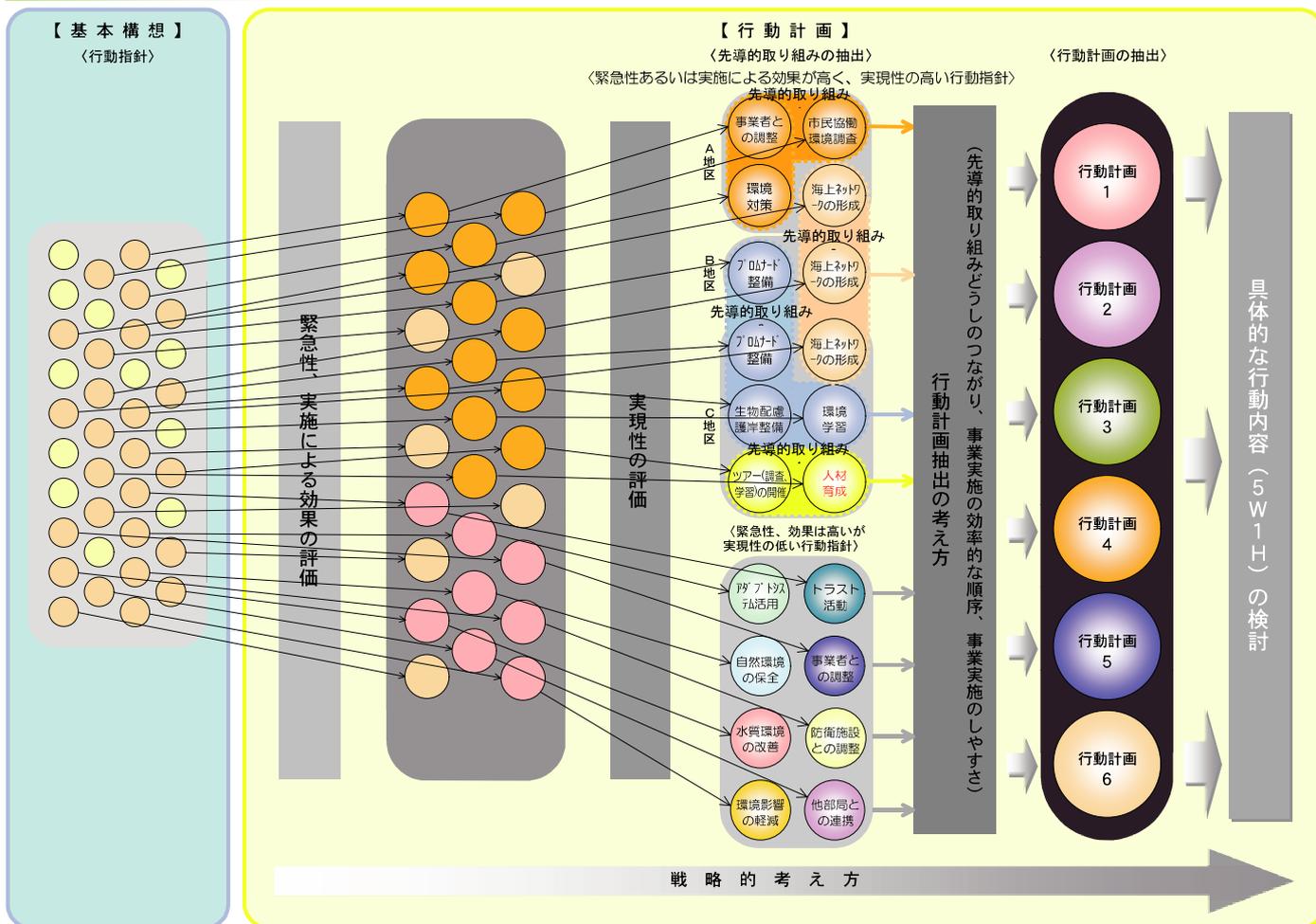
横須賀港港湾環境計画では、理念を示すとともに、実践を大きなテーマと考えています。思考は大きく、行動は地に足のついた着実性を求めてまいります。

「できることから、できるところから、継続して」

きれいな、豊かな、楽しい水辺を未来に引き継ぐため、市民のみなさんと一緒に考え、行動します。

基本構想で提唱した地区別の85の行動指針から、概ね10年を計画期間とする行動計画を抽出します。

行動計画抽出の流れ

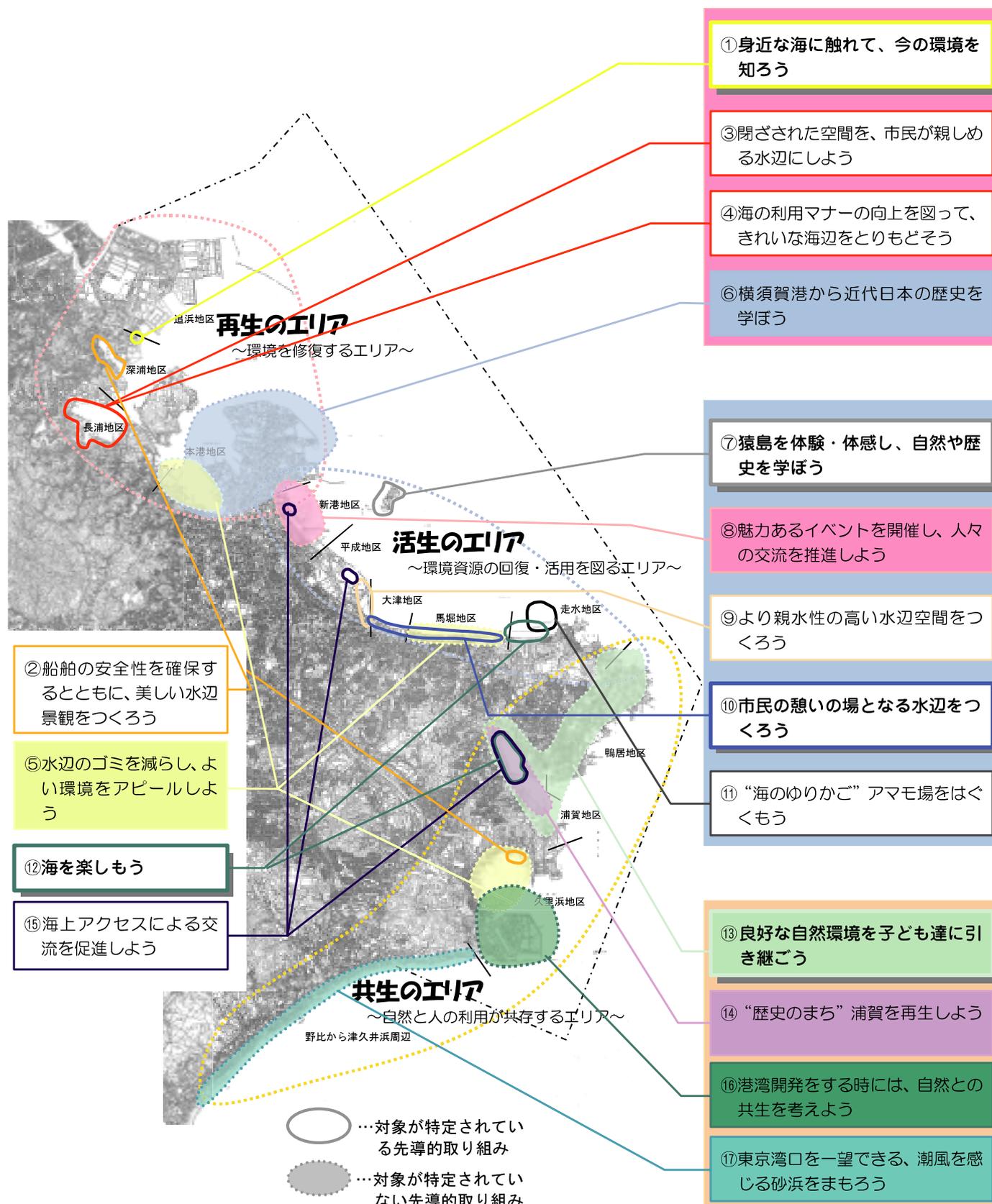


【戦略的考え方とは】

環境に関わる行動は、市民と行政が、港の利用、まちづくり、自然との共生等について、一緒に考え、行動することが大切です。そのためには、市民が海や港に親しみ、関心を持つような施策を積極的に展開する必要がありますと考え、行動計画の戦略的考え方としました。

先導的取り組み

緊急性、効果、実現性の評価に戦略的考え方を加味して“17の先導的取り組み”を提案しています。



行動計画

～身近な海に触れて、今の環境を知ろう～

－行動計画の到達目標－

調査・観察によって環境の現況を知り、横須賀の海の環境について市民が理解・継承していくために、以下の活動を行います。

- (1) 追浜に身近な海を取り戻すための多彩な活動の実施
- (2) 地域市民に広く認知された四季折々の環境を学ぶための活動の実施

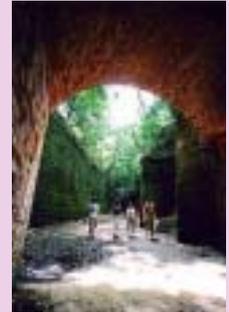


～猿島を体験・体感し、自然や歴史を学ぼう～

－行動計画の到達目標－

猿島の自然（水質・底質・生態系）に配慮しつつ、猿島のエコミュージアムとしての魅力を十分に活かすツアーの定着を目指すために、以下の活動を行います。

- (1) 市民と行政との協働によるガイド等の人材育成方策の策定
- (2) 猿島の利用システムの構築
- (3) 構築された利用システムの活用



～市民の憩いの場となる水辺をつくろう～

－行動計画の到達目標－

3つ以上の連続した環境構造（砂質底～砂浜～海浜植生帯等）への配慮が成された緑地（親水、環境共生、防災）の整備を図るために、以下の活動を行います。

- (1) 市民協働や専門家などによる水辺づくりのための検討の推進
- (2) 整備後の施設管理に関わる役割分担の明確化



～海を楽しもう(走水で波間体験)～

－行動計画の到達目標－

東京湾で数少ない自然砂浜やアマモ場を活用し、人々が「海を楽しむ」ための関わり（イベント参加、海水浴等）を増加させるために、以下の活動を行います。

- (1) 海の安全性・危険性に関する情報交換の実施
- (2) 各種イベントの開催及び必要な施設の整備



～良好な自然環境を子ども達に引き継ごう～

－行動計画の到達目標－

良好な自然が残されている観音崎・浦賀の自然環境を活用し、環境保全への意識を向上させるため、以下の活動を行います。

- (1) 環境に関する市民募集（香り、景色、音の10選等）
- (2) ワークショップなどによる役割分担、ルールづくりの検討
- (3) イベントによる環境への意識の向上



～海を楽しもう(浦賀でマリンスポーツ体験)～

－行動計画の到達目標－

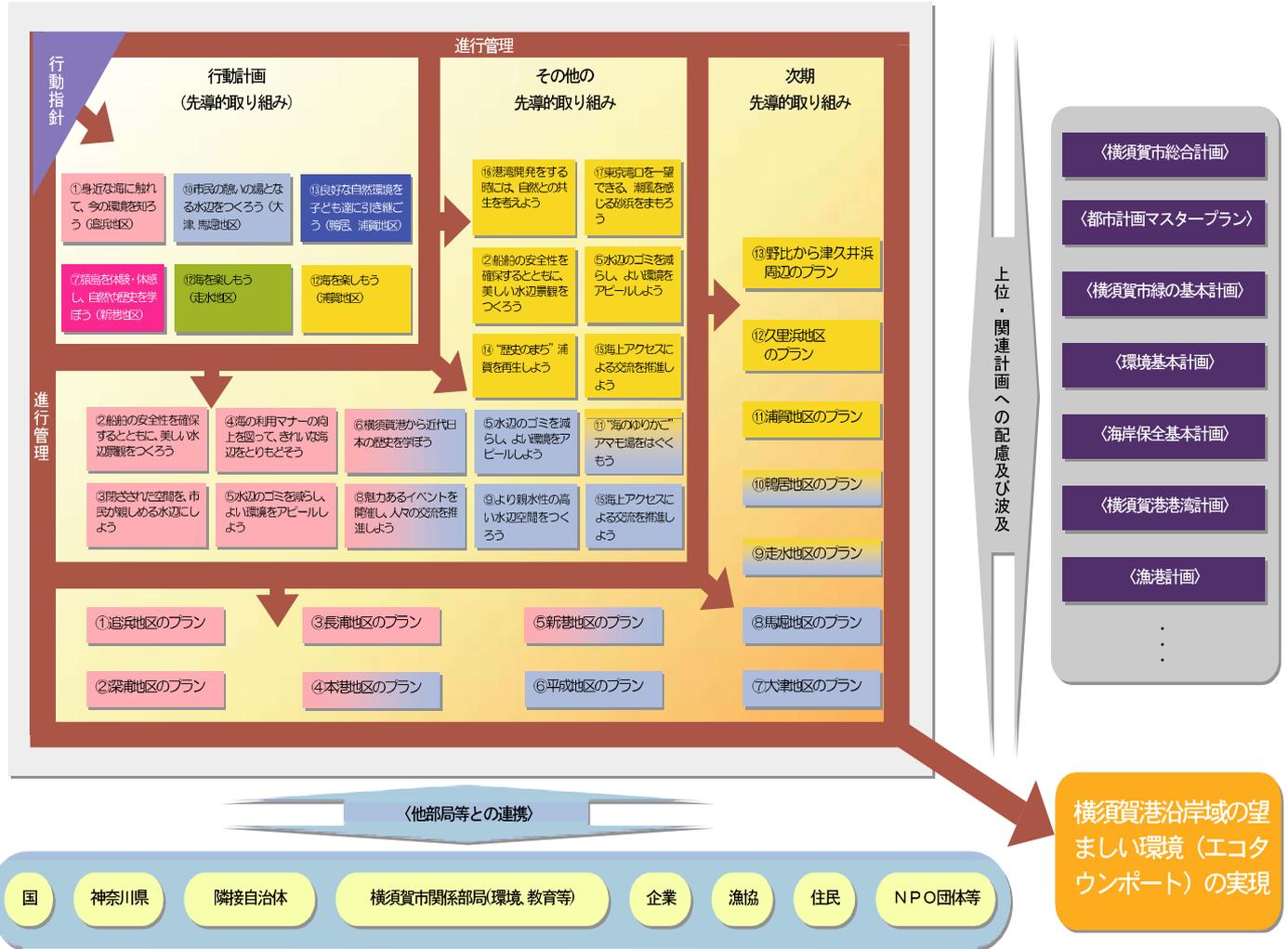
浦賀湾の特性を把握し、マリンスポーツを楽しむために必要な環境を整え、ゲレンデづくりを目指すために、以下の活動を行います。

- (1) 海の安全性・危険性に関する情報交換の実施
- (2) 市民協働によるイベントの開催
- (3) ワークショップなどによる港の活用方策についての検討・実践



横須賀港港湾環境計画の今後の取り組み

港湾環境計画には、地域の特徴に応じた様々な行動指針、先導的取り組み、行動計画が提案されています。今後、私たちは、「**できることから、できるところから、継続して**」を念頭に、まずは、行動計画からスタートし、その結果を見つつ、順次、次のステップ（先導的取り組み、行動指針）へと広がっていきます。



横須賀港港湾環境計画の実現のために ～協働と連携～

横須賀港港湾環境計画を着実に進めていくためには、横須賀市内部における連携はもちろん、県や国との連携、さらには、市民の皆さんをはじめ、学校や企業、NPO等諸団体、漁業関係者との協働が大切です。

横須賀港には、豊かな自然環境と活力ある社会環境が同居しています。横須賀市では、自然環境と社会環境の調和のために、皆さんとともに考え、行動していきたいと考えています。横須賀港の環境保全のために、ぜひ皆さんの力を貸して下さい。

そして、横須賀港の優れた環境を、次の世代へと継承し、全国に、そして世界に誇れる横須賀港を、一緒に実現させたいと思います。

横須賀市 港湾部 港湾企画課

〒238-8550

神奈川県横須賀市小川町 11 番地

TEL046-822-8397 FAX046-826-3210

URL : <http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/minato/>

Mail:pp-ph@city.yokosuka.kanagawa.jp